

第 87 号
2017 年 (平成 29 年)
2 月

たけはら

市民と議会

<http://www.city.takehara.lg.jp/>

議長挨拶	2
提出議案などの概要	4
目次	
議決の結果	6
一般質問	7
議会のうごき	11
行政視察報告	12



新成人誓いの言葉



晴れやかな笑顔の新成人たち (竹原中学校卒業生の皆さん)

次回定例市議会は、2月下旬からの予定です。みなさん、市議会を傍聴しましょう。

ありがとう竹原
~いつも感謝を胸に~
未来へ挑戦! 進め!
ハタチ!

1月7日 成人式

人事決定 平成28年11月1日現在

議長

道法 知江



ご挨拶

市民の皆様には議会に際しましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年11月に議会人事の改選を行い、議長に就任いたしました道法知江です。高重洋介副議長と共に新しい体制でスタートいたしました。

委員会制度に移行し、それぞれの委員会で活発な議論を展開しておりますが、更に深く広く活動し皆様の負託に相應るように努力してまいります。

近年は気候変動による災害が予想される中、災害が発生した場合に、迅速かつ的確な

総務文教常任委員会

委員長

山元 経穂



ご挨拶

当委員会では、本市の財政、産業振興、水道等を主に審査するものであります。

議会から付与されている権限に基づき、委員と共に、本市行政の改善、課題について2年間、真摯に取り組んで参りますので、市民の皆様のご理解を賜ります様、よろしくお願いたします。

副委員長

堀越 賢二



委員



川本 円

井上 美津子

大川 弘雄

道法 知江

脇本 茂紀

議会運営委員会	
委員長	井上 美津子
副委員長	川本 円
委員	脇本 茂紀
委員	宇野 武則
委員	北元 豊
委員	宮原 忠行

議会だより編集委員会	
委員長	井上 美津子
事務局長	堀越 賢二
委員	大川 弘雄
委員	川本 円
委員	竹橋 和彦
委員	今田 佳男

公共施設ゾーン調査特別委員会	
委員長	脇本 茂紀
副委員長	北元 豊
委員	松本 進
委員	宇野 武則
委員	宮原 忠行
委員	大川 弘雄
委員	井上 美津子
委員	川本 円
委員	堀越 賢二
委員	山元 経穂
委員	竹橋 和彦
委員	今田 佳男



◎会派代表者会議…正副議長と3ページの会派の代表者で構成する会議

◎全員協議会……全員で構成する会議

第1回 臨時会で議会

活動を行うことにより、市民の安全確保及び災害復旧に寄与するため、議会災害対応指針並びに議員の行動基準を定める「大規模災害対応基準」を策定することが必要不可欠であると痛感しています。

人口減少、少子高齢化社会それに連なる地方創生や地域の課題への対応と議会の担う役割は非常に広く大きなものになっていきます。

市民の皆様にお応えできるよう、議員力アップで住民に開かれた竹原市議会の「見える化」を目指してまいります。と決意しております。

市民の皆様にはより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



副議長
高重 洋介

民生都市建設常任委員会



委員長
宮原 忠行

ご挨拶

民生都市建設常任委員会の所管事務は、医療・介護・福祉子育て支援等、あらゆる世代の揺りかごから墓場までのライフサイクルと都市建設等のライフステージの整備行政と複雑多岐にわたっています。全力を挙げて市民の負託に応えていく決意です。

副委員長
竹橋 和彦



委員



今田 佳男



高重 洋介



北元 豊



宇野 武則



松本 進

◎竹原市議会会派

種 別	議会選出各種議会議員委員会委員
竹原市監査委員	宮原 忠行
広島中央環境衛生組合議会議員	道法 知江 大川 弘雄 山元 経穂
広島県後期高齢者医療広域連合議会議員	道法 知江
竹原市農業委員会委員	井上 美津子
竹原市民生委員推せん会委員	山元 経穂 川本 円
竹原市都市計画審議会委員	竹橋 和彦 宮原 忠行
竹原市青少年問題協議会委員	山元 経穂 堀越 賢二
大久野島活性化協議会委員	脇本 茂紀

会派名	所属議員名
快政会	※堀越 賢二 高重 洋介 川本 円 大川 弘雄 宮原 忠行
民政同志会	※井上 美津子 山元 経穂 竹橋 和彦
無所属	※脇本 茂紀(社民党) ※松本 進(共産党) ※宇野 武則 ※北元 豊 ※道法 知江(公明党) ※今田 佳男

○会派とは、構成員2名以上のものをもって会派とみなし、一人の場合は、無所属となります。※印は会派長()内は政党名

概要と付託委員会と委員会採決の結果

議案番号	議案名	議案の概要	付託委員会	委員会採決
議案第 57 号	竹原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案	平成 28 年度竹原市職員の給与改定に合わせ、市議会議員の期末手当の支給割合について、改正しようとするもの	総務	原案可決
議案第 58 号	竹原市特別職の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案	平成 28 年度竹原市職員の給与改定に合わせ、市長、副市長及び教育長の期末手当の支給割合について、改正しようとするもの	総務	原案可決
議案第 59 号	竹原市税条例等の一部を改正する条例案	地方税法等の一部が改正され、延滞金に係る期間計算の見直し及び特例適用利子等に係る課税の特例が定められたことに伴い、必要な規定を整備するもの	総務	原案可決
議案第 60 号	竹原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	所得税法等の一部が改正されたことに伴い、特定適用利子等及び特例適用配当等の係る国民健康保険税の課税の特例を定めるもの	総務	原案可決
議案第 61 号	竹原市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案	公職選挙法施行令の一部が改正されたことに伴い、国政選挙における選挙運動に関する公営に要する経費に係る限度額が引き上げられたこと等を踏まえ、竹原市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担の限度額を改定するもの	総務	原案可決
議案第 62 号	平成 28 年度竹原市一般会計補正予算(第 3 号)	91,277 千円増 総額 13,328,782 千円	総務	原案可決
議案第 63 号	平成 28 年度竹原市公共下水道事業特別会計補正予算(第 1 号)	56,754 千円増 総額 734,754 千円	民生	原案可決
議案第 64 号	平成 28 年度竹原市介護保険特別会計補正予算(第 2 号)	1,936 千円減 総額 3,325,173 千円	民生	原案可決
議案第 65 号	平成 28 年度竹原市水道事業会計補正予算(第 1 号)	収益的収入 100,313 千円増 収益的支出 8,488 千円増 予算規模 913,724 千円	総務	原案可決

※「総務」は総務文教委員会「民生」は民生都市建設委員会

常任委員会のようす

総務文教委員会

平成 28 年 12 月 8 日と 15 日に委員会付託の議案を慎重審議し、全会一致で可決した。

主な質疑は次のとおり。議案第 54 号の農業委員 5 名や農地利用最適化推進委員 14 名の任命に関して、偏りがなく分業が反映され、双方連携が図れる人選基準の考え方や、耕作放棄地の減少や利用の仕方に関して、健康や観光にも利用可能である農業振興のあり方について質疑が展開された。また、委員会質疑に続き議案第 54 号、第 57 号、第 58 号については、委員外議員の質疑も行われた。

民生都市建設委員会

平成 28 年 12 月 9 日と 16 日に審議し、当委員会に付託された議案第 63 号、議案第 64 号は全会一致で可決した。付託議案第 63 号・議

案第 64 号に対して質疑はなかったものの、平成 28 年度竹原市一般会計補正予算のうち、当該委員会の所管である民生費の老人福祉施設費において、黒滝ホームの要介護 3 以上の入所者は何人いるのか、同ホームの宿直から夜勤体制の変更による業務内容がどのように変わるのかなど質疑が行われた。

また、要介護 1、要介護 2 は、現在どうなっているのか、介護サービスをどうするのか、要介護者の在宅実態調査及び特養老人ホームの待機者をどうするのかなど、いずれも高齢化対応や認知症など老人福祉に関する質疑も活発に行われた。



平成28年第4回定例会提出議案などの

議案番号	議案名	議案の概要	付託委員会	委員会採決
議案第 48 号	竹原市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	竹原市教育委員会委員中 浅野稔 委員は、平成 29 年 1 月 31 日をもって任期満了に付き、その後任委員を任命するもの(浅野 稔氏再任)	省略	
議案第 49 号	竹原市公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	竹原市公平委員会委員中 田中豊年 委員は、平成 29 年 1 月 30 日をもって任期満了に付き、その後任委員を選任するもの(田中 豊年氏再任)	省略	
議案第 50 号	竹原市固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	竹原市固定資産評価審査委員会委員中 岡東なち子 委員は、平成 29 年 3 月 6 日をもって任期満了に付き、その後任委員を選任するもの(木村 健二氏)	省略	
議案第 51 号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	人権擁護委員中 大川正憲 委員は、平成 29 年 3 月 31 日をもって任期満了に付き、その後任委員を推薦するもの(井上節堂氏)	省略	
議案第 52 号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	人権擁護委員中 森川愛子 委員は、平成 29 年 3 月 31 日をもって任期満了に付き、その後任委員を推薦するもの(丹下 成子氏)	省略	
議案第 53 号	広島県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び広島県市町総合事務組合規約の変更について	広島県市町総合事務組合から山県郡西部衛生組合が脱退すること及びこれに伴う広島県市町総合事務組合規約を変更することについて議会の議決を求めもの	総務	原案可決
議案第 54 号	竹原市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例案	農業委員会等に関する法律の一部が改正されたことに伴い、農業委員会の委員の選出方法が変更されるとともに農地利用最適化推進委員が新設されたことから、農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数など必要な規定を整備するもの	総務	原案可決
議案第 55 号	地方自治法第 207 条等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例案	農業委員会等に関する法律の一部が改正されたことに伴い、条例中における引用条項の整理を行うもの	総務	原案可決
議案第 56 号	竹原市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	人事院の平成 28 年 8 月 8 日付けの給与改定に関する勧告等を考慮して、職員の給料月額等を改定するもの	総務	原案可決

本会議での主な討論

議案第 54 号

反対 松本 進

「農業委員会等に関する法律」改定は、「農民の地位の向上」が削除、農業委員の選出方法が市長の「任命制」に変えられる等、民主主義の重大な後退です。農業委員等の選出・任命にあたっては、農業者等から、候補者の推せん及び募集を行い、その情報を公表し、結果の尊重を強く求めておきます。

賛成 堀越賢二

地域割りされた 14 名の農地利用最適化推進委員により、それぞれの担当地域において現地活動が実施され、その報告は農業委員会で意見を述べる事により、指針の策定や変更において農業委員と連携がはかられるものであり、権利異動の許可や農地転用許可にあたっても双方が連携できる状況であります。

議案第 65 号

反対 松本 進

改定後の水道料金は一般用が 606 円から 680 円(74 円 12・2%)値上げ。工業用は 13,026 円が 680 円(△12,346 円・△95%)に大幅な値下げ。市水源の活用が適正に行われていません。県用水受水費問題の解決、政策判断で一般財源から充当すれば水道料金の値上げは全く必要ありません。

賛成 堀越賢二

平成 28 年 10 月 1 日からの料金改定により給水収益が 1 億 375 万円上がり、更新時期を迎えている水道管や施設等の長寿命化対策や耐震化など機能強化を計画的に進めて行く事ができるのと、自己水源系と県用水系の 2 系統を有効に利用し災害時等の安定給水を図るため相互連絡管の整備も進める事が出来ます。

本会議における採決の結果

この議会だより（第87号）から定例会の本会議における採決の結果を一覧表にして掲載することにいたしました。

一覧表の表示は、議案ごとに竹原市議会会議規則第70条の「議長が表決を採ろうとするときは、問題を可とする者を起立させ、起立者の多少を認定して可否の結果を宣告する。」において起立した議員については「○」、起立しなかった議員については「×」、また、同規則の第68条の「表決の際、議場にいない議員は、表決に加わることができない。」により議場にいなかった議員については「欠」で表示しています。

また、議長は採決に加わらないので「議」としてしています。

議員名 議案	今田 佳男	竹橋 和彦	山元 経穂	高重 洋介	堀越 賢二	川本 円	井上 美津子	大川 弘雄	道法 知江	宮原 忠行	北元 豊	宇野 武則	松本 進	脇本 茂紀	採決の 結果
議案 第 48 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案同意
議案 第 49 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案同意
議案 第 50 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案同意
議案 第 51 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第 52 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第 53 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第 54 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	×	○	原案可決
議案 第 55 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	×	○	原案可決
議案 第 56 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	○	○	原案可決
議案 第 57 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	×	○	原案可決
議案 第 58 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	×	○	原案可決
議案 第 59 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第 60 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第 61 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第 62 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	○	○	原案可決
議案 第 63 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第 64 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第 65 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	×	○	原案可決

「議」は議長、「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席。

市政に関する一般質問

= 12月定例会 =

2016年12月定例会は7名の議員が市政について一般質問を行いました。

その概要について報告します。(紙面の都合上、質問項目の内容を要約していますので、ご了承ください。)

質問等については、質問者が責任をもって記載しております。

一 般 質 問 事 項

氏 名	質 問 タ イ ト ル	頁
松本 進	1 吉田市長の公約について	8
	2 西野町赤坂地区の里道管理について	
	3 竹原市公共施設の指定管理者制度について	
井上美津子	1 防災について	8
	2 観光について	
川本 円	1 子育て世帯向け地域優良賃貸住宅について	9
	2 「チーム学校」からみた学校現場の課題を解決するための体制について	
宇野 武則	1 情報公開条例について	9
	2 公文書取扱いについて	
	3 銀行跡地小公園について	
	4 子育て世帯向け地域優良賃貸住宅について	
	5 (旧) たけはらふれあい館について	
宮原 忠行	1 平成 28 年度税収見込みについて	10
	2 新開地区土地区画整理事業の事業効果等について	
	3 平成 28 年度給与改正条例上程に向けての労使交渉並びに交渉妥結に至る経緯並びに労使合意の内容について	
堀越 賢二	1 マイナンバーカードについて	10
	2 関係団体と小中学校との教育委員会の調整の必要性について	
	3 防潮水門・排水ポンプ場について	
今田 佳男	1 家庭教育支援について	11
	2 「たけはら輝きプラン 2015」について	

◆一般質問には、市政全般に亘る政策の内容や状況を質問するほか、行政姿勢を問う質問や発展的な提言を行う質問などがあります。



松本 進 議員

市長の公約について

質問

「まず雇用の確保、小規模な工業団地を造成し企業を呼び込みたい」「私なりに産婦人科医師を呼び込むための考えがある。一部公費負担ができるかもを含め、手だてを検討したい」市長の公約の具体策と取り組みは。

答弁 (市長)

竹原工業・流通団地への企業誘致や創業支援・大型スーパー等の出店などにより、就任以来おおむね250人を超える雇用が創出されたものと認識しております。産科医療体制の充実について、各方面に働きかけを行ってきたところであり、すが、解決が容易ではなく、大きな課題であると認識しています。本

年4月から市内で産婦人科の診察が開始されるなど、妊産婦の健康の保持増進及び安心して出産や子育てを行うことができる体制の拡充を図ってまいります。

西野町赤坂地区の里道管理について

質問

「里道の浄化槽設置は不適切」、市長の答弁以後の取り組みは。合併浄化槽を撤去・移設する意志の確認は。「市の指導書には応じることができない」と市に提出した文書と市の告訴の判断基準は。今回の教訓を生かして市法定外公共物(里道・水路)を管理する条例制定は。

答弁 (市長)

11月15日付で里道敷地の原状回復についての指導文書を持参し、担当職員が直接当事者に指導を行っているところであり、原状回復の求めに応じない場合について、重ねて指導、協議を行い、解決

に向けて取り組んでまいります。境界確定作業への協力も含めて指導しているところです。条例の制定につきましては、今後、財産管理の適正化の観点から、他市町の事例を参考に調査研究したいと考えています。

市公施設施設の指定管理について

質問

道の駅たけはら、公共施設の本業務は大新東様が実施です。直接雇用は何人ですか。事前の市の承諾を除き、「本業務の一部を第三者に委託し又は請け負わせてはならない」とあるが、市の偽装請負契約の認識は。

答弁 (市長)

直接雇用者は総括責任者となる駅長一人です。現場における再委託業務の範囲やその業務に対する指示など役割分担がされていることなど、適正な履行体制の確保を求めて、これを承諾したものです。



井上 美津子 議員

防災について

質問

地域防災力の向上に効果的な防災士について伺う。

答弁 (市長)

防災士は、自助・共助・協働を原則として、社会の様々な場で防災力を高め、自治体等の公的組織やボランティアの人達と協働して活動することのほか、平時には防災意識の啓発にあたり、大災害に備えた訓練や技術練磨などに取り組み、必要に応じて防災計画の立案等にも参画することが期待されています。

質問

本市の資格取得者は17人です。

質問

防災士の普及について伺う。

防災士制度の普及・

啓発を図るとともに、他団体での取組等について、調査研究してまいります。

質問

河川の浚渫についての考えを伺う。

答弁 (市長)

土砂の堆積状況を調査し、緊急に対策が必要であると判断した箇所については、随時、浚渫を行っているところであり、今後も引き続き関係機関と連携しながら適切な河川管理に努めてまいります。

質問

告知放送設備事業の進捗状況を伺う。

答弁 (市長)

平成28年11月末で全体の事業の80%の進捗率は、今後の予定としては、平成29年3月中旬には試験放送等を実施したのち、4月から運用を開始したいと考えております。

質問

観光について 古民家等の空き家を

活用しての観光についての考えを伺う。

答弁 (市長)

先進地の事例を調査研究しながら、本市らしい古民家の活用策について関係者と検討を行い施策の充実を図ってまいります。



▲河川の浚渫



▲緊急告知放送システム





川本 円 議員

竹原市子育て世帯向け地域優良賃貸住宅について

質問

募集開始から9ヶ月を経過し、空き部屋があることに對して、市の見解とその原因は、今後の対策も合わせて伺います。

答弁 (市長)

本件住宅が民間から借り上げているものであり、借上料が発生していることから、早期に入居者を確保することが喫緊の課題であると考えております。原因は、年度途中での引っ越し等を懸念されたと思われ、対策については、現在の要件で新年度に入り入居状況が厳しいようであれば、要件・助成の見直しについて検討したいと思っております。

「チーム学校」からみた学校現場の課題を解決するための体制について

質問

①「チーム学校」が提唱されているスクールソーシャルワーカーや部活支援員の認識と必要性を伺います。

②「チーム学校」の目的でもある業務改善の効果は教員に実感されていますか。

答弁 (教育長)

①学校での問題行動等の背景には、様々な環境の要因が複雑に絡み合い、学校だけでは解決困難なケースが増えており、諸課題の解決に向け専門的な見地からの助言や支援を必要とされることから、スクールソーシャルワーカーや部活支援員の必要性を感じているところであります。

②成績処理や指導要録の一部の電子化による業務改善において生み出す時間も多くあり、その効果は教員も実感できているところであります。



▲子育て世帯向け地域優良賃貸住宅



▲学校での部活風景

子育て世帯向け地域優良賃貸住宅について

質問

①解体費5,000万円。下請負金額1,300万円。差額3,700万円。納税者が理解できる説明を。解体費高額に伴う公有地の売却額減少については。

②路線価改定は何年。

③土地再評価の理由。

答弁 (市長)

①不動産鑑定士が不動産の価値として算出したものであります。

②平成24年に実施されています。

③平成25年と26年において地価の下落が大きく、市内の全域において価格の修正が行われているものであります。



宇野 武則 議員

公文書取扱いについて

質問

①平成28年8月、創建ホーム(株)渡辺某代名で市長宛に街路樹移植願が提出。市長に対する文書は企業団体の代表者が提出と思うが、企業での渡辺代のポストは。

②移植理由。

③現地街路樹は30年間孟宗竹を植樹。申請書ではなぜ篠竹なのか。

④街路樹移植は市の指定する場所に業者が施工で承認。しかし街路樹すべて伐採は特定業者の横暴ではないのか。他の場所でも同様の承認をするのか。

答弁 (市長)

①社印が押印された申請企業名と担当者名が記載されていることから企業の意思として申請書が提出されたものとして受理したものです。

②葉が繁茂することやその重さで倒れ掛かることなどにより、視認しづらくなることを

想定しています。

③交通安全上の課題もあることから、低木として篠竹を植えることを市が認めたものです。

④施工内容や承認条件が分かりにくいものとなっていたことから平成28年10月に様式等の変更を行い運用しているところです。

銀行跡地小公園について

質問

①当用地鑑定は市の依頼で中央鑑定所が実施。坪単価19万2,000円と評価。市は周辺不動産等の独自の調査評価基準と提出された評価額について内部調整は。

答弁 (市長)

①鑑定評価額は専門資格をもつ不動産鑑定士が算定して提出されたものであり、内部調整できるものではありません。

②間違いありません。



宮原 忠行 議員

新開地区区画整理事業の事業効果等について

質問

今年度予算執行に伴う事業進捗率、事業区域内における住民と家屋及び賃貸住宅の増減と事業所数と、そうした数値向上に伴ってもたらされた法人住民税土地、家屋、償却資産別の固定資産税について、事業執行前と今日段階においてどのよう

答弁 (市長)

本市の中心市街地に隣接する新開地区においては、道路・水路・公園等の公共施設と宅地を一体的かつ総合的に整備する事により、良好な市街地環境の整備・改善と土地利用の増進を図るため、新開

土地区画整理事業を推進しているところであり、今年度末までの進捗率を約81パーセントと見込んでいます。

この新開地区内での建築状況につきましては、平成8年以降では、戸建てやアパート等の新築の累計件数が平成28年11月末現在で119件となっており、人口については、事業実施に伴い、事業前の480人から約540人増加し、現在では約1,020人となっております。

このほか居住施設以外にも商業施設、福祉・医療施設等が54件新築されており、事業着工から現在までの雇用人数といたしましては、これらの企業の進出が雇用の場の確保にもつながっております。

法人市民税につきましては、事業実施前の課税資料がございませんで比較はできませんが、平成27年決算での税収は778万円と

なり、法人市民税全体の収入の約3.5パーセントを占めております。固定資産税の推移につきましては、事業実施前と比較して、土地が2,700万円、家屋が3,400万円、償却資産が300万円増加し、合計で6,400万円程度税収への影響があるものと考えられます。



マイナンバーカードについて

質問

①現在のマイナンバーカードの発行状況は、
②利便性の向上や行政事務の効率化が図られている事例は。

①平成28年11月30日現在で2,711枚を交付しています。
②平成29年7月からマイナンバー制度での情報連携が開始しますと、データにより情報が取得できることにより、照合・転記等に要する時間や労力が削減され、行政手続きが正確かつスムーズに行うことが可能となります。

また平成29年7月から行政機関が保有する住民に関する情報や行政機関から住民に対しての必要なお知らせ情



堀越 賢二 議員

関係団体と小中学校との教育委員会の調整の必要性について

質問

医療関係者による出前講座等の実施に向けてスケジュールの調整など積極的に取り組み実施する必要があると思うが。

答弁 (教育長)

児童・生徒が地域社会と関わることや社会に役立つ経験を通じて自己肯定感を醸成していくことが、将来地域社会に貢献する人材を育成するためにも、学校教育において大変重要であるものと考えております。

防潮水門・排水ポンプ場について

質問

大潮などの潮位が高い日



▲冠水した道路

などには住宅地への流入や道路の冠水が見られるが、水門の開閉の判断や実施はどのようになっているのか。

答弁 (市長)

広島地方気象台から竹原市に高潮に関する特別警戒、警戒又は注意報が発令されたとき、又は広島地方気象台から広島県に津波に関する警戒又は注意報が発令されたときに本市から委託業者に要員の待機を指示し、これに基づき排水機場に待機して警戒態勢に入り、水門の開閉の判断や実施については、広島県の本川水門等操作要領により定められた水位での水門の開閉操作を行っているものであります。



今田 佳男 議員

家庭教育支援について

質問

文部科学省は、家庭環境の多様化や地域社会の変化により、家庭が抱える課題が複雑化していることから、家庭教育支援が必要として、具体的な推進方策について検討することとしています。家庭教育支援は重要な課題と認識されています。竹原市の取組状況をお聞かせください。

答弁 (教育長)

家庭の教育力の向上を図るため、学校を通じて講演会等への参加を呼びかけるなど、啓発に努めています。スクールカウンセラーによる相談など家庭教育の支援体制を整えているところです。広島県が進めている「親の力をまなびあう

学習プログラム」を来年度市内の小中学校での実施を予定しています。引き続き竹原市全体で家庭教育支援の取組を充実させてまいりたいと考えております。

「たけはら輝きプラン2015」について

質問

地域の特性に応じるため、例えば中学校区を単位とした「日常生活圏域」を設定されてはいかがでしょうか。

答弁 (市長)

「地域包括支援センター」と4か所の「プランチ」を整備し、市全域をきめ細かく網羅した形で、日常生活圏域を一つと定めています。

質問

生活支援コーディネーター (地域支え合い推進員) の設置について。

答弁 (市長)

計画期間内の設置に向けて調整を進めているところです。

地域ケア会議の充実について

答弁 (市長)

民生委員との連携の場となる小地域ネットワーク会議や主に困難事例の検討の場となる個別ケース会議を含め、他職種その他関係者との連携を図っています。

質問

現在までの進捗状況で検討すべき課題があるでしょうか。

答弁 (市長)

毎年度介護保険運営協議会に運営状況を報告し、事業内容等の検証を行っており、今後地域包括ケアシステムの構築に取り組みむ必要があるものと認識しております。

市町村アカデミー 研修報告

議員派遣により、平成28年10月24日(月)から25日(火)の2日間に市町村アカデミー (千葉県) 研修を高重洋介・大川弘雄・川本円の3名で参加させて頂きました。内容については、熊本地震を例示とした、地震のメカニズムや特徴の説明を受けると共に、災害支援の基本的な考え方や議員としての活動の在り方について勉強をさせて頂きました。

その後の平成28年12月20日(火)において報告会を開催する中、出席議員からは、今後においての災害支援や災害対応についての提言を受けると、本市議会における議会災害対応マニュアル作成の第一歩になったと思っております。

川本 円

議会のうごき

11月 2日	公共施設ゾーン調査特別委員会	12月 2日	広島県中央環境衛生組合議会 全員協議会・定例会
11月 15日	議会運営委員会 (定例会申し入れ)	12月 27日	議会だより編集委員会
11月 21日	代表者会議	1月 12日	府中市・竹原市合同議員研修会 (府中市)
11月 30日	議会運営委員会 (会期前)	1月 13日	議会だより編集委員会
12月 6日	第4回定例議会 (~12月20日) 本会議 代表者会議・議会だより編集委員会	1月 19日	代表者会議
12月 8日	第1回 総務文教委員会	1月 23日	山形県南陽市議会来市 議会だより編集委員会 行政視察 (東広島市議会)
12月 9日	第1回 民生都市建設委員会	1月 24日	神奈川県綾瀬市議会来市
12月 10日	広島県中央環境衛生組合議会 全員協議会	2月 1日	県市議会議長会 東部ブロック議員研修会 (福山市)
12月 12日	本会議 一般質問 (~12月14日)	2月 3日	災害対応について (議員派遣) 江田島市
12月 14日	代表者会議 議会だより編集委員会	2月 6日	議会だより編集委員会 行政視察 (坂町議会)
12月 15日	第2回 総務文教委員会	2月 7日	市町総合事務組合議会定例会
12月 16日	第2回 民生都市建設委員会	2月 9日	広島県後期高齢者医療広域連合議会定例会
12月 19日	議会運営委員会 (会期中)		奈良県高市郡町村議会議長会来市
12月 20日	本会議 事例研究 (発表) 会		

報 告

総務文教委員会 視察

視察・研修の様子

小学校廃校跡地利用：
ヤマト運輸コールセンター ▶



▲外国人講師による動きのある英語授業

総務文教委員会（山元経穂委員長・川本円副委員長・北元豊・堀越賢二・竹橋和彦・今田佳男）は平成28年10月19日から21日3日間において、清須市「水害・防災対策」・津市「教育課程特例校」・名張市「廃校跡地利用」・寝屋川市「教育支援サポーター」の4点を

テーマに視察・研修して参りました。
視察研修地
①清須市（愛知県）（水害・防災対策について）
「逃げどきマップ」・「防災マップ」について研修致しました。
防災マップは作成したら完成でなく、さまざまな災害を検証し絶

えず見直しが必要なこと、また、災害の形態により避難場所も選別する必要性が大切であることを再度認識すると共に実感致しました。
本市においても避難所をマップで固定化しているが、常に見直しの必要性を地域住民に啓発しなければならぬと思われました。
②津市（三重県）（教育課程特例校について）
校長より学校の変遷及び基本指導目標・方針の説明後、外国人講師による授業を参観致しました。
外国人講師と2名のサポーターの先生による授業では、小道具等を使用し、発言や発表のタイムニングが計られ、更にコミュニケーション力の育成も上手く取り入れられていて、児童に理解しやすいように伝え「導入」「展開」「振り返り」と時間を感ぜさせない授業内容でした。
いずれにしても、参

観経験を踏まえた教育現場での活用スタイルを提言していきたいと思えます。
③名張市（三重県）（廃校跡地の利活用について）
名張市では、小学校廃校跡地利活用について視察に参りました。
地元住民の拠点活動とした有効活用が一般的であるが、厳しい財政状況と雇用創出の観点から考えて企業誘致を行い、住民理解を得て2社の企業選定経緯に至った説明を受けた後、廃校2校の現地視察に行きました。
本市においても、廃校跡地の利活用について取組中ではありますが、生産性の向上の観点からも見習うところがあると感ずる視察先でした。
④寝屋川市（大阪府）（家庭教育サポーター支援チームについて）
この事業は、「家庭教育機能総合支援事業」として平成15年から始まり、現在は「家庭教

育サポーターチーム」として取り組まれていきます。
活動内容は、登校時間に立ち合い児童生徒の個々の登校状況の様子から生活状況を早期発見したり、不登校や登校しぶり、遅刻の児童生徒等を中心に学校からの依頼を受けて、家庭を訪問し、家庭状況や保護者との関係を築き、学校と保護者を繋ぐ役割を担っています。
また、青少年を対象としたマルチスペースや勉強部屋、食堂からなる居場所づくり等の事業を市内2か所に設け、児童生徒だけでなく地域の青少年（30歳以下）の心の拠り所を確保しています。
本市においても、家庭サポーター事業は行なわれていますが、この先進地視察事例を本市の取組みにも活かして参りたいと思われました。
委員 竹橋和彦

民生都市建設委員会 視察

行政視

視察・研修の様子



▲松本市での研修会



▲上田市役所にて

民生都市建設委員会
(高重洋介委員長・井上美津子副委員長・松本進・宇野武則・道法知江・大川弘雄)では、平成28年10月12日から14日まで行政視察に行きました。

◆移住・定住支援事業

(岐阜県中津川市)
中津川市では、I・U・J・ターンの空き家バンク活用で若い世代の移住定住を促進しており、農業・林業体験を通して、就労も含めて移住しやすい環境を整え、登録に苦労していた空き家バンクに奨励金を出して登録を促していました。

その他、市内には古民家再生による飲食店などが多く点在していました。本市も、空き家対策や若い世代の移住、定住施策をすることにより、人口減少に歯止めをかけることになると思います。

◆食品ロス削減

(長野県松本市)
松本市では、「残さず食べよう30・10運動(会食や宴会時での食べ残しを減らすため、乾杯後の30分間は席を立たず料理を楽しみ、又、お開きの前10分間

は自分の席に戻って再度料理を楽しむ取組のこと)」を実施することにより、食品ロス削減だけでなくごみの減量に繋がり、保育園・幼稚園の園児の環境教育をすることにより、子供だけでなく、親の意識が変わることが実証されたと説明を受けました。

食品ロス削減に効果的でごみ削減に繋がる「30・10運動」は有益で、環境教育においても、「もったいない」という気持ちが反映されると考えます。

◆健康づくりプロジェクト事業

(長野県上田市)
上田市では、楽しみながらスポーツやウォーキングをすることにより、健康づくりへの意識の向上を図り、また、地域コミュニティの形成の視点も取り入れながら、医療費削減を目指していました。本市も、健康寿命を

延ばすために、健診の受診率向上、若年層への健康づくりの意識付けなどの施策をしてくことが重要であると思えます。

また、庁舎入り口で陣羽織をはおり、幟旗を持った上田市議員連盟の皆さんによる出迎えは、おもてなしの心が伝わってきました。

最後に、この度の視察先では、大学との連携や民間団体との連携、また、住民を巻き込んだ事業により、各施策が効果的に行われていました。

産・官・学連携や市民の力を結集して、本市の未来都市像である「住みよさ実感 瀬戸内文化都市 たけはら」の実現に向けて、施策を進めることが必要であると考えます。

副委員長
井上 美津子





賀茂川・忠海・吉名・他中学校卒業生の皆さん

1月7日土曜日、平成29年成人式が竹原市民館ホールにて行われました。この日を迎えるにあたって、私たち成人式実行委員9名は、10月から定期的に集まり、『人生でたった一度しかない成人式を、新成人だけでなく、保護者や先生、みんなの心に残るものになりたい。』その思いで、話し合いを重ねてきました。アトラクションのビデオレターでは、懐かしい先生方が登場する度に会場から歓声があがり、『喜んでもらえて良かった。』と舞台袖で安堵しました。

最初は実行委員をやるかどうか、とても悩んでいた人もいました。

しかし、今となっては、普段できない経験をさせてもらえたことに感謝していると同時に、「この9名で運営することが出

：新たな未来を目指して…
夢に向かって羽ばたけ！ハタチ！

来て良かった。」と胸を張って言うことができず。

式が終わった後も、保護者の方々や友達から「ありがとう」「いい成人式だったよ」と声をかけられ、とても嬉しかったです。

この経験を活かして、これから成人としての自覚を持って歩んでいこうと思います。

成人式実行委員 一同



実行委員長の挨拶



実行委員会のメンバー

お知らせ

くわしくは会議録で…

掲載されている一般質問や答弁は、要約したものです。本会議の内容をくわしく知りたい方は会議録でわかります。

市の議会事務局と竹原書院図書館に備えてありますので、ご利用下さい。また、市のホームページにも掲載しています。

<http://www.city.takehara.lg.jp/>

検索

YouTube^{JP}

竹原市議会



編集後記

『金』清水寺 森清範貫主により力強く揮毫された、2016年「今年の漢字」ですが、リオ五輪の（金）メダルラッシュや政治家による政治とカネ（金）問題、またトランプ米大統領やピコ太郎の（金）髪や衣装と、喜怒哀楽それぞれの金がありました。また、新語・流行語大賞には「神ってる」で、広島東洋カープの緒方孝市監督と鈴木誠也外野手が年間大賞を受賞しました。

丁酉 今年一年が昨年の「金」「神」のようにプラスのイメージが湧く言葉で言い表せ、明るいうことが「酉」込める年であることを願います。

堀越 賢二

連絡先

竹原市役所議会事務局
竹原市中央五丁目1番35号
電話 22-7761 (直通)
FAX 23-5027

〔編集委員〕◎委員長 ○事務局長

- ◎井上美津子 ○堀越 賢二
- 今田 佳男 竹橋 和彦
- 川本 円 大川 弘雄